

鶴見川水系河川整備計画（原案）及び鶴見川流域水害対策計画（原案）に係る住民説明会 質疑要旨

場所：町田市民ホール 第4会議室

日時：平成18年9月20日 19:00～21:00

参加者質問・意見内容	事務局回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの治水方式は河川集中方式だったが、発想を逆転して地下へ浸透させる政策を持ってくるべきであると考え。新規開発に伴った地下浸透施設の整備を義務づけているところもあるが、もっと全域的な整備が大事ではないか。計画の中にも一部は触れられてはいるが、発想の転換というほどではないように思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川整備計画の中で理念的に水循環の健全化を記述したことは少し前進であると思う。河川整備計画は河川の法定計画であり、内容的に書けない部分もあるが、平成16年に策定した鶴見川流域水マスタープランでは、河川だけでなく流域全体で水循環の健全化を進めていこうという事を示し、施策を進めている。(京浜)</li> <li>・川の整備、下水の整備などを含めて流域の総合的な治水対策を、市民の協力をいただきながら進めていきたいと考えている。(東京都)</li> <li>・河川整備計画P45、流域水害対策計画のP27にも施策等を記述している。内容的にはまだ完全なものではないが、少しずつ前進していると考えている。(京浜)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川整備計画に30年間という期間が書いてあるが、これは原案から計画決定公表、実施までが30年間という意味か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両計画の原案は9/1に公表している。この原案に対していただいたご意見を参考にして、計画案を作成する。さらに関係各部署等と調整をしながら、年内くらいを目標に計画を策定したい。(京浜)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川整備計画P61とP68の真光寺川について、断面の確保に努めるとあるが、護岸整備も済んでいるし、土地のスペースも無いと思うのだが、どのように進めるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここの断面の確保というのは、仮に護岸が壊れたときでも確保していこうというもので、維持管理に入れるべき項目かもしれない。必要があれば項目の移動を検討する。(東京都)</li> <li>・河川整備計画P68には神奈川県区間についての記述をしている。現在の河道断面で流量が確保されており、これを確保するという意味で記述している。(神奈川県)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・真光寺川の親水整備について、河川整備計画P61には触れていないがP68では触れられている。どのように親水整備を進めていくのか。</li> <li>・親水整備が行われている2箇所の内、東京都の下堰橋の所は階段が片側にしかなく、散歩ができる状況ではない。もう1カ所に階段を作る事ができないか。また、周辺には土地があり、もっと拡張して整備ができないか。更に、「下堰橋」という表示がない。これでは愛情をもてない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親水整備については、現状で2箇所ほど親水空間として整備しているところがある。その他の地域については、護岸整備が終了している事もあり、積極的に親水整備を進めるという事はないが、例えば護岸の補修の際に親水空間や生物にも配慮した川づくりできればと思う。(東京都)</li> <li>・具体的な事例の話になるので、ぜひご意見を書いていただいて提出していただければ、具体的な整備に生かしていきたいと思う。(東京都)</li> </ul>

参加者質問・意見内容	事務局回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間について 30 年と長いが具体的にはどのように進めるのか。水質の目標として河川整備計画 P41 に川の中で水遊びができるような目標が示されているが、これを 30 年かけて達成するとすると、遅すぎるのではないか。例えば 3～5 年程度の短期計画を作って、モニタリングしながら進めていく必要があるのではないか。具体の取り組みのイメージを示してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標について、ふれあい等級は市民の方と一緒に川に入って、感覚的に水遊びできるという等級を水質指標で示したもので、これを達成するのは下水道の力を借りないと達成できない部分が多いが、現在示されている下水道の整備計画を進めてもらえれば 10 年後には概ね満足できると考えているので、着実に進めていきたい。市民の方にも食べ残しを流さないなどの取り組みを進めてもらいたい。(京浜)</li> <li>・30 年後を目標とする河川整備計画で全て整備が終わりという事ではなく、更に長い期間で見た河川整備基本方針というものがある。河川整備計画の期間は 30 年としているが、仮に 20 年で目標を達成したら次のステップへ進めていくことになる。(京浜)</li> <li>・鶴見川流域水マスタープランを踏まえ、下水道と連携して水質改善を図るアクションプランを検討しており、取り組み状況などについて市民に公表していく事を考えている。(京浜)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の支川では既に工事が始まっているが、小野路川はまだ始まっていない。小野路川の扱いはどうなっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小野路川については、この計画の対象外の小さな河川という事で、整備は町田市が担当している。小野路川はこれまで、水マスタープランのモデル計画という形で整備の計画を検討したが、予算の関係で計画が遅れている。しかし、下水道の事業に位置づけることで補助金が出るようになり、土地の購入等の目処が立ったところである。H20 年の鶴川第一小学校の創立 100 周年に間に合うように学校の周辺から着手し、その他の所は約 5 年をかけて整備を進めていく。整備の内容はモデル計画に沿ったかたちでできる見通しとなっている。(町田市)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・能ヶ谷橋の 100m 程上流には川の中に木が生えている。また、アシや木が生えているところはその他にもあり、これらが流れを阻害して洪水を生む事があるのではないか。こうした木を切るなどの整備を進めないのは何故か。</li> <li>・木については伐採ではなく、根を抜いていく必要がある。</li> <li>・計画だけでなく、現場で危険だと判断されているところは、整備を進めて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘の場所について、現状を把握していないので、至急調査する。(東京都)</li> <li>・河川の中の木などを切らない事について、一般的な話となるが、河川環境を保全する事を盛り込んだ法改正がされている。しかし治水として必要なところは当然伐採していく必要があるので、必要性を確認しながら判断していく。(京浜)</li> <li>・植物が流れを阻害しているかどうかを判断する専門家を入れて、樹種を見ながら伐採、抜根を判断していく。また、掘削についても治水上の必要性を判断しながら進めていく。(京浜)</li> </ul>

参加者質問・意見内容	事務局回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴見川の千代橋と精進橋の間の川底に、木が生えているところがある。また、桃が生えており枝を切ってもらったりしているが、最近枝が伸びてきているところがある。よく巡回して現場を見て欲しい。</li> <li>・土砂をさらってもらうように指摘しているが、下流から順次進めているという話だけで、なかなか進まない。いつになるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流れを阻害する木や枝については、手を入れていくようにしているが、指摘の箇所については現場を確認する。(神奈川県)</li> <li>・詳細は、出先事務所と現場を確認して個別に報告する。(神奈川県)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本川と違い、恩田川は昔の方式で護岸をされているからか、子どもたちが川で遊ぶところが少ない。本川なみの親水域を設けて欲しい。</li> <li>・30年の内にどのくらい作るという計画はないのか。河川整備計画を示すなら、支川にも具体的な計画を示して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恩田川の護岸改修は既に終わっており、親水整備は改修に併せて行っているため、すぐには予定がない。(東京都)</li> <li>・河川整備計画のP67に神奈川県恩田川区間についての記述をしている。現在本川合流部付近に親水施設を整備中である。河道改修や洪水調整施設の整備予定の所では環境に配慮した整備を進めていく。その他でも、要望があれば可能な限り対応していく。(神奈川県)</li> </ul>